

# 平成 27 年度 社会福祉法人 宝塚いくせい会 事業報告書

社会福祉法人 宝塚いくせい会は、障害者総合支援法に基づき、平成 24 年 4 月に知的障害者の障害福祉サービス事業として、多機能型就労継続支援 A 型・B 型事業、単独型短期入所事業及び日中一時支援事業の運営を開始し、平成 27 年度は法人として 4 期目の事業が経過しました。

それぞれの事業の運営にあたっては、利用者を尊重し、常に利用者寄り添ったサービスの提供を心がけて運営するとともに、サービスの質的向上を図るため職員の意識の向上にも努めています。

また、平成 27 年度下期には、ENJOY ハウス、安倉ホームに継ぐ三箇所目の単独型短期入所施設として「来夢」を立ち上げ、平成 28 年度からの本格稼働としています。

## I 事業報告

### 1 多機能型就労継続支援 A 型・B 型事業（宝塚育成事業所）

利用者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるように、通所による就労の場を提供するとともに、個別支援計画に基づき就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の支援を適切に行いました。併せて、利用者の意思及び人格を尊重し、地域や家族その他の社会資源との結びつきを重視した事業運営に努めました。

#### (1) 定員・利用状況・訓練給付費の状況

	年度	定員	契約人数	年間延べ開設日数	年間延べ利用者数	平均利用人数/日	訓練給付費
A 型	27 年度	10 人	12 人	238 日	2,856 人	12.0 人	20,122,061 円
	26 年度	10 人	12 人	238 日	2,856 人	12.0 人	20,821,239 円
	増減	—	—	—	—	—	△ 699,178 円
B 型	27 年度	15 人	16 人	238 日	3,627 人	15.2 人	27,112,785 円
	26 年度	15 人	16 人	238 日	3,469 人	14.5 人	26,388,057 円
	増減	—	—	—	158 人	0.7 人	724,728 円

※ 定員、契約人数は、平成 28(27)年 3 月 31 日現在

※ 平成 26 年度末で B 型利用者の一名が自己都合で退所されたことに伴い、新たな B 型利用者について、宝塚市障害者就業・生活支援センター「あとむ」との協議のうえ、平成 27 年 4 月 1 日付で契約しました。

#### (2) 就労支援事業の状況

##### ① 生産活動業務

A 型	・介護保険指定事業者として介護福祉用具の貸与、販売業務
B 型	・介護保険対象外福祉用具の消毒、運搬、貸与、販売業務 (受託事業) ・宝塚市下の池公園維持管理業務、宝塚市立病院植栽管理業務 ・花屋敷栄光園清掃業務、鳥島団地公園清掃業務 ・各種下請け業務(招福縁起物作業、宝塚牛乳関係、贈答品箱折り、DM 封入等) ・車いす等福祉用具の消毒業務 ・その他自治会等用具運搬等 ・内部外注受託 (A 型から B 型へのベッド等消毒受託業務)

② 就労支援事業収益の状況

年度	A 型	B 型	合計
27 年度	78,051,972 円	15,471,274 円	93,523,246 円
26 年度	70,545,427 円	15,276,922 円	85,822,349 円
増 減	7,506,545 円	194,352 円	7,700,897 円

就労支援事業 A 型の介護福祉用具貸与事業の現状は、平成 26 年度と比較すると約 750 万円の増収となっています。これは、平成 27 年 3 月に他のレンタル事業所の閉鎖に伴う顧客の移管を受けたことによるものです。また、急激に増加した顧客に対応するため、平成 28 年 3 月に福祉用具専門相談員として 1 名採用しました。

介護保険制度外の対応を行う就労支援事業 B 型の福祉用具の貸与事業も併せて、地域の事業者やその他の方々からの理解と支援を受けながら、堅実に収益の確保を図ることができていますが、収益の大幅な増加には至っていません。今後も安定して収益を確保していくためには、地域の要望にきめ細かく対応し、丁寧に相手の立場に立った営業活動を行うことがなにより大切であると認識しています。

B 型の受託事業については、宝塚市立病院の植栽管理業務や花屋敷栄光園の清掃業務も一定の評価をいただき、また下請け業務についても積極的に取り組むなどして収益の確保に努めています。

③ 賃金及び工賃の状況

	年度	賃金・工賃 (賞与を含む)	平均月額賃金・工賃 (賞与を除く)	備 考
A 型	27 年度	11,492,973 円	77,312 円	最低賃金 794 円 適用 4 人
	26 年度	10,851,341 円	71,190 円	最低賃金 776 円 適用 2 人
	増 減	641,632 円	6,122 円	
B 型	27 年度	5,986,299 円	29,715 円	
	26 年度	6,258,639 円	31,873 円	
	増 減	△ 272,340 円	△ 2,158 円	

平成 27 年度の A 型の平均月額賃金は 77,312 円で、前年度に比べ 6,122 円向上しました。また、最低賃金の適用者は前年度から 2 名増加して 4 名になっています。

B 型の平均月額工賃は 29,715 円で、前年度に比べ 2,158 円低下しました。B 型の平均工賃については出勤に伴う 1 日当たりの基礎給を 4 月に 20 円、10 月に 30 円引き上げましたが、平成 27 年度工賃査定で、高齢の利用者の作業量の低下や作業に入る前段階の個別支援に対応する利用者などにより、相対的に支払総額が下がる結果になりました。

④ 作業環境等の整備状況

平成 27 年度は雨天時の対策として作業所周りに庇を設置し作業効率を図るとともに、老朽化した屋外倉庫を改善しました。また、(公財)中央競馬馬主社会福祉財団の助成を受けて配送用車両を更新しました。

また、利用者の更衣ロッカーとしてバッグ等の収納可能なものに更新し、利用者自らが私物の整理整頓ができるように改善しました。

- ・雨除け庇設置工事費 367,200 円
- ・屋外倉庫購入費 197,640 円
- ・車両購入費 1,782,700 円 (助成金 710,000 円)
- ・ロッカー整備費 594,000 円

(4) 職員配置

区 分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合 計
管理者	1人(他事業と兼務)	—	1人
サービス管理者(兼生活支援員)	1人	—	1人
生活支援員	2人	—	2人
職業指導員	4人	3人	7人
事務員	1人	1人	2人
合 計	9人	4人	13人

2 単独型短期入所事業 (ENJOYハウス・安倉ホーム・来夢)

ENJOY ハウスは将来の自立した地域生活を目指すため、家庭以外で宿泊を経験する場として個別支援計画に基づきサービスを提供しています。また、安倉ホームは ENJOY ハウスでの宿泊を一定期間経験したのち、グループホームへの移行を前提として、計画的に連泊経験を重ねる場として個別支援計画に基づきサービスを提供しました。そのほか、ENJOY ハウス、安倉ホームとも、居宅において利用者の介護を行う方の疾病やその他緊急の理由により短期入所の利用を必要とする方に対して、サービスの提供を行いました。

なお、ENJOY ハウス利用者の夕刻の送迎については、宝塚さざんか福祉会のバスによる日中の施設からの送迎がなくなったことから、タクシーを利用した送迎とすることとし、9月からの試行を経て12月より本格運行しました。

また、男性利用者の連泊をさらに進めることを目的として、地権者の協力を得て施設の整備していた第三番目の短期入所施設「来夢」が平成27年末に完成し、平成28年3月1日付で事業開始認可を得ました。職員の確保についても目途がつき、4月からの稼働を実施します。



1階 つばさ・2階 来夢

(1) 定員及び利用状況等

	年度	定員	年間開設日	年間延べ利用者数	平均利用人数/日	介護給付費
ENJOY ハウス	27年度	7人	237日	1,497人	6.3人	29,709,684円
	26年度	7人	237日	1,532人	6.5人	28,654,270円
	増減	—	—	△ 35人	△ 0.2人	1,055,414円
安倉ホーム	27年度	8人	238日	1,410人	5.9人	25,509,575円
	26年度	8人	237日	1,510人	6.4人	26,007,675円
	増減	—	—	△ 100人	△ 0.5人	△ 498,100円
来夢	27年度	4人	—	—	—	—

※ 平成28年3月末現在の契約人数は、ENJOYハウス 50人、安倉ホーム 28人

※ ENJOYハウス新規利用者 … 3人

※ 安倉ホーム新規利用者 … 3人

(2) 利用者のステップアップ

- ・ ENJOY ハウスから安倉ホームへ移動した利用者 … 5人
- ・ ENJOY ハウスからグループホーム(カーネーション)に移動した利用者 … 1人
- ・ 安倉ホームからグループホーム(カーネーション)に移動した利用者 … 4人

(3) 職員配置

区 分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合 計
管理者	1人(他事業と兼務)	—	1人
サービス管理者(兼生活支援員)	1人	—	1人
生活支援員	3人	1人	4人
調理員	—	3人	3人
合 計	5人	4人	9人

3 日中一時支援事業 (つばさ&ミッキー)

学校の放課後や施設利用後の日中における活動の場を提供し、障害児(者)の家族の就労支援や日常的に障害者(児)を介護している家族の一時的な休息の場を提供しました。

また、学校の長期休業期間中は「ミッキー」として、夏休みと冬休みは「ぷらごこむ」で運営し、3月の春休みは新施設で日中における活動の場を提供しました。

職員に関しては、平成27年4月に女性嘱託職員を一名雇用し、女性利用者に対する適切な支援に努めています。

なお、日中一時支援事業所としては、従前の3階建ての施設から平成28年2月17日付で新事業所(宝塚市安倉中2丁目5番16号)に移転し、ワンフロアの効率的な施設での運営を開始しました。

また、施設の移転に伴い、敷地内にボルダリング施設(整備費3,780,000円)を整備し、利用者が運動のできる活動の場として提供しています。



ボルダリング設備

(1) 定員及び利用状況等

	定員	年間開設日	年間利用者			年間延べ利用者数	年間延べ利用時間	市受託事業収益等
			学 齢	成 人	計			
27年度	15人	246日	341人	276人	617人	3,033人	15,913時間	29,143,774円
26年度	15人	243日	308人	304人	612人	2,836人	14,863時間	26,824,118円
増 減	—	3日	33人	△28人	5人	196人	1,050時間	2,319,656円

※ 平成27年度中に利用があった契約者数は73人

(2) 職員配置

区 分	正規(嘱託)職員	臨時職員	合 計
管理者	1人(他事業と兼務)	—	1人
サービス管理者(兼生活支援員)	1人	—	1人
生活支援員	2人	7人	9人
合 計	4人	7人	11人

※ 臨時職員数は定数ではありません。

※ ミッキー開設時の臨時職員は除く。

## II 法人の基盤の確立と運営の安定化

### 1 理事会及び評議員会の開催状況

会議の名称	第1回 理事会	第1回 評議員会
開催日時	平成27年5月25日 17:00～18:45	平成27年5月25日 15:00～16:30
開催場所	宝塚市総合福祉センター	宝塚市総合福祉センター
出席者数	理事 7名 監事 1名	評議員 15名 監事 1名
欠席者数	理事 1名(書面評決1名) 監事 1名	評議員 2名 監事 1名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度第3回補正予算</li> <li>・平成26年度事業報告</li> <li>・平成26年度決算認定</li> <li>・職員給与規程の改正</li> </ul>	
会議の名称	第2回 理事会	第2回 評議員会
開催日時	平成27年10月14日 16:00～17:30	平成27年10月14日 14:00～15:20
開催場所	宝塚市総合福祉センター	宝塚市総合福祉センター
出席者数	理事 5名 監事 2名	評議員 11名 監事 1名
欠席者数	理事 3名(書面評決3名)	評議員 6名 監事 1名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度第1回補正予算</li> <li>・新施設の建設状況と施設の活用について</li> <li>・平成27年度事業運営状況について</li> </ul>	
会議の名称	第3回 理事会	第3回 評議員会
開催日時	平成27年12月18日 17:00～18:20	平成27年12月18日 14:00～15:40
開催場所	宝塚市総合福祉センター	宝塚市総合福祉センター
出席者数	理事 8名 監事 2名	評議員 14名 監事 1名
欠席者数		評議員 3名 監事 1名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単独型短期入所事業の実施について</li> <li>・日中一時支援事業所の移転について</li> <li>・平成27年度第2回補正予算</li> <li>・職員就業規則の改正</li> </ul>	
会議の名称	第4回 理事会	第4回 評議員会
開催日時	平成28年2月19日 17:00～17:40	平成28年2月15日 16:15～16:45
開催場所	宝塚市総合福祉センター	宝塚市総合福祉センター
出席者数	理事 6名	評議員 12名
欠席者数	理事 2名(書面評決2名) 監事 2名	評議員 5名 監事 2名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長の選任</li> <li>・評議員の選任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の選任</li> </ul>
会議の名称	第5回 理事会	第5回 評議員会
開催日時	平成28年3月30日 10:00～11:40	平成28年3月28日 10:00～11:30
開催場所	宝塚市総合福祉センター	宝塚市総合福祉センター
出席者数	理事 7名 監事 2名	評議員 13名 監事 1名
欠席者数	理事 1名(書面評決1名)	評議員 4名 監事 1名
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員給与規程の改正</li> <li>・嘱託職員等の就業規則の改正</li> <li>・平成28年度事業計画及び資金収支予算(当初予算)</li> <li>・「来夢」運営規程、利用契約書、重要事項説明書について</li> </ul>	

## 2 役員等の選任について

任期満了に伴い、役員(理事及び監事)及び評議員を選任しました。

役員(理事及び監事)		評議員	
選任日	平成28年2月15日	選任日	平成28年2月19日
任期	(自)平成28年2月16日 (至)平成30年2月15日	任期	(自)平成28年2月21日 (至)平成30年2月20日
(敬称略、五十音別)		(敬称略、五十音別)	
理事	浅山 みゆき 今西 則行 植戸 貴子 大野 セツ子 小原 正義 小原 冷子 恒田 貴美 松下 祐介	評議員	浅山 みゆき 壹岐 收一 今西 則行 鵜澤 靖 小田切 隆幸 上江洲 薫 片山 エリサ 楠 順 後藤 千奈美 坂田 みどり 島田 康治 宿南 敦子 須田 弘子 長谷川 憲司 古田 広子 紅山 修 山田 精一
監事	佐藤 寿一 中谷 智香		

## 3 内部委員会等の開催状況

委員会名	主な内容	開催頻度
運営委員会	理事会、評議員会の上程議案や法人及び施設の運営に係る重要事項の検討 (人事配置、事業の展開、施設改修、新規施設設置、職員研修計画、中長期事業計画等)	月1回
業務改善委員会	就労継続事業部門、短期入所事業部門、日中一時支援事業部門の取組状況や業務の改善策、また、ヒヤリ・ハット事例の事象等について情報の共有と意見交換の実施	月1回
短期入所連絡会	ENJOYハウスと安倉ホームの課題の抽出やサービスの提供のあり方等の検討	概ね月1回

#### 4 年間事業

	防災の取組み	行事関係
5月	・つばさ消防避難訓練	
6月	・宝塚育成事業所消防避難訓練	・職員、宝塚育成事業所所員 健康診断
7月		・宝塚育成事業所 ハッピーデイ
9月	・ENJOYハウス消防避難訓練 (ワークプラザ宝塚・いきいき宝夢 合同訓練) ・安倉ホーム消防訓練、避難訓練	・宝塚育成事業所利用者親睦旅行(岡山方面)
10月	・つばさ消防避難訓練	
11月		・職員、宝塚育成事業所所員 インフルエンザ 予防接種 ・宝塚育成事業所所員 ハッピーデイ
12月	・宝塚育成事業所消防避難訓練	・宝塚育成事業所所員 忘年会
2月	・宝塚育成事業所消防避難訓練 ・ENJOYハウス消防避難訓練 (ワークプラザ宝塚・いきいき宝夢 合同訓練)	・宝塚育成事業所所員 ハッピーデイ ・地域交流事業「いくせい会まつり」の開催
3月	・安倉ホーム消防避難訓練	・宝塚育成事業所所員向け研修 「障害者虐待防止について」

#### 5 安倉ホームの防災設備(スプリンクラー設備)について

安倉ホームのスプリンクラー設備の整備については、水道直結型のスプリンクラー設備の整備は断念しているところですが、新たにパッケージ型自動消火設備の是非が問われるなかで、今後、国等の動向を見定めつつ対応していくこととしています。

#### 6 リスク管理

支援活動中に遭遇するヒヤリ・ハット事例については、その情報を部門間を超えて一元化し、情報の共有と今後の支援活動に生かせるように取り組んでいます。支援員の意識管理が最も重要であることから業務改善委員会で絶えず確認するように徹底しています。

また、行方不明事案に適切且つ迅速に対応できるように、行方不明対応マニュアルとフェイスシートの作成に取り組んでいます。

### Ⅲ 職員研修の充実

外部研修として専門研修や分野別研修等に可能な限り研修の機会を付与し、知識の獲得と問題意識の醸成に努めています。また、内部研修として、「障害者差別解消法」や「障害者虐待防止法」の研修を実施し、職員の支援力の向上に努めています。さらに、利用者の個別支援については、他機関との連携によって問題の解決に取り組んでいます。

#### 主な研修事業

7月	・自閉症・発達障害の方の居心地のいい暮らしのために
8月	・宝塚市手をつなぐ育成会 第一回支援者セミナー
9月	・強度行動障害支援者養成研修 (ENJOYハウス職員)
11月	・高齢化問題について 兵庫県手をつなぐ育成会特別講演会 ・自閉症・発達障害の方のコミュニケーション支援の方法について ・社会福祉士実地指導者講習会 (宝塚育成事業所職員)
3月	・障害者差別解消法及び障害者虐待防止法について (職員全体研修)

### Ⅳ その他

- 1 法人設立時より社会福祉法人の新会計基準を導入し、新会計基準に基づく適切な経理事務を執行し、会計の明確化に努めています。
- 2 ENJOYハウス保護者会より500,000円の寄附金をいただき、来夢ほかの短期入所施設で有意義に活用させていただきました。また、宝塚育成事業所の所員の福利厚生用として市民の方より120,000円のご寄附をいただいたほか、善意銀行より、宝塚育成事業所、ENJOYハウス、安倉ホーム、つばさに対してそれぞれ30,000円の配分金をいただき、それぞれの施設の利用者の福利厚生用品等に充当させていただきました。
- 3 歳末助け合い助成金の配分を受け、一般社団法人宝塚市手をつなぐ育成会との共催で「いくせい会まつり」として交流事業を開催しました。
  - ・開催日時：平成28年2月20日(土) 11:00～13:30
  - ・開催場所：宝塚市総合福祉センター
  - ・参加者数：350名